

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		人事管理事務		課名	人事課	事業No.	35
				会計	一般会計		
主要区分		主 記号		事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	戦略計画						
	分野別計画						
	法令・例規等	地方公務員法等					
		飯田市職員の給与に関する条例等					
事業目的		対象	職員				
		意図	適正な人事管理、正確かつ迅速な給与管理の実施				

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・社会人としての実務経験を有する者を即戦力として生かすための社会人選考を引き続き実施しました。 ・多様な人材が採用試験にチャレンジできるよう、引き続き全国にあるテストセンターで総合型適性検査（SPI試験）を実施しました。 ・人物をより重視するために試験申込み時の面接を実施するとともに、受験生に配慮し東京会場を設けました。 ・法令、条例等に基づいた適正な給与支給や人事管理を行うため人事給与システムの適切な運用及び管理を行いました。 ・令和2年4月から開始となる会計年度任用職員制度に向けた準備を行いました。		職員採用試験				1,512				
			人事給与システムの管理				29,978				
					その他の経費				1,094		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	職員数 (正規職員)	人	1,541	1,546	1,546	1,571	1,571	1,562			
	職員数 (臨時非常勤職員)	人	974	965	965	977	977	967			
1年度決算(千円)	予算額	32,868	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	32,584	(そ) 他会計等負担金 (給与計算)								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	11,274								
一般財源	21,310										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 中 事業	中 事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	10	10	1	32,868	32,584	人事一般管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・採用試験応募者の減少に対応する必要があります。 ・特に土木技師の応募が少ない状況ですが、年齢構成を踏まえた計画的な採用が必要です。 ・会計年度任用職員制度へ滞りなく移行する必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・多様な人材が採用試験にチャレンジすることができる環境を提供します。 ・職場見学、インターンシップを積極的に受け入れます。 ・引き続き会計年度任用職員制度への対応を進めるとともに、制度について庁内へ周知徹底を図ります。							
次年度に向けての取り組み		・採用試験は、新型コロナウイルス感染症の影響を十分に見据えた上で適切に実施します。 ・インターンシップについては、新型コロナウイルス感染症の状況に注視し、より有効な受入れ方法を研究します。 ・会計年度任用職員制度移行に伴う課題等があれば把握し、必要な対応を行います。							